

2009年度 同志社大学大学院
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程
入学試験 第2次審査
試験問題

法律科目試験
(行政法)

解答用紙は問題ごとに分かれていますので、注意すること。

[注意]

1. 試験開始の合図があるまで、この表紙を開けてはいけません。
2. 資料として配付する六法もケースに入れて机の上に置き、試験開始の合図があるまで、開けてはいけません。また、六法に傍線等書き込みや折り曲げをしてはいけません。
3. 筆記用具（ペンまたは鉛筆）、消しゴム、下敷き（ただし、下敷き使用の場合は監督者の許可を得ること）、その他監督者が特に許可したもののほかは使用できません。これ以外の携行品は、監督者の指示に従って所定の場所に置くこと。
4. 問題紙の本文は、1頁である。試験開始後ただちに欠落や印刷の不鮮明な箇所がないか確認すること。欠落や印刷の不鮮明な箇所がある場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 解答用紙は、第1問が1枚、第2問が1枚の計2枚である。解答用紙の左上にそれぞれ問題番号が記載されているので、必ず対応する解答用紙に解答を記入すること。
6. 各解答用紙の左下に受験番号の記入欄がある。受験番号を正確・明瞭に記入すること。
7. 解答は、ペンまたは鉛筆で記入すること。修正液や修正テープを使用してはいけません。
8. ラインマーカーや色鉛筆は、問題検討のために問題紙に限り使用することができる。解答用紙や六法に使用してはいけません。
9. 試験開始後は、終了まで試験場から退出できない。
10. 試験はすべて監督者の指示によって行う。監督者の指示に従わない場合や不正行為を行ったときは、試験場から退出させる。
11. 試験中に気分が悪くなる等やむを得ない場合は、黙って手を挙げ、監督者の指示に従うこと。
12. 試験終了の合図とともに、すみやかに筆記具を置き、監督者の指示を待つこと。許可があるまで試験場を退出できない。
13. 試験終了後、問題紙は各自持ち帰ること。
14. 携帯電話やPHS等の通信機器の使用は認めない。電源を切ってカバン等にしまうこと。
15. 試験時間中の飲食は禁止する。ただし、水分補給のため、ふた付きのペットボトル（ペットボトル以外は不可）に入った飲料を持ち込んで飲むことを認めるが、机の上に容器を置かず、必ずふたを閉めて足元に置き、机上にこぼしたり、水滴によって解答用紙を汚損しないよう十分注意すること。

2009年度 同志社大学大学院
司法研究科法務専攻（法科大学院）専門職学位課程
入学試験問題 法律科目試験

(行政法)

第1問 次の事例を読んで〔設問〕に答えなさい（配点：25点）。

(事例)

甲県警の警察官A, Bは、飲酒運転の多発地である国道の乙地点において、飲酒運転など交通関係違反の取締を主な目的とする自動車検問を行った。自動車検問は、走行の外観的状况に交通違反を犯している等の不審な点があるなしにかかわらず、同地点を通過する一方向の車両のすべてについて赤色燈を回しながら一時停止させる方法で行うものであった。

警察官A, Bは、国道を走行してきたXに一時停止を求め、運転席の窓を開けてもらい、窓越しに運転者に運転免許証の呈示を求めたところ、酒臭がするので酒気帯び運転の疑いを持ち、降車を求めた。Xが、これに応じ格別拒否することもなく素直に降車したので、警察官A, Bは、Xの同意の下に、付近の派出所までの同行を求め、そこで飲酒検知を実施したところ、酒気帯び運転が確認されたので、Xを検挙した。

〔設問〕

Xは、自動車検問は法的根拠がなく違法なものではないかと疑問に思っている。自動車検問について、その法的根拠を検討し、上記の事例について、適法・違法を論じなさい。

第2問（配点：25点）

行政行為の附款について、(1) 意義、(2) 種類、(3) 附款の限界、(4) 附款の瑕疵の効果を述べなさい。